

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都市 】

学校名【 京都市立下京中学校 】

1 実践テーマ	IV
2 実施対象者 (学年・人数)	伝統文化部 1・2年 10名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他 (留学生を招いたお茶会) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・茶道や華道、百人一首、かるたなどの伝承遊びを介した国際交流体験を通して、日本や京都の伝統と文化の本質を考える。 ・広い視野や豊かな感性を育み、日本の文化を継承する大切さを学ぶ。
5 取組内容	<p>●事前学習 留学生を招いた茶道体験を通して、日本の伝統文化を伝えるためには、どのような方法が良いかを考え進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶道についての説明 ・お点前の見学・体験 ・プレゼントの作成 <p>●当日の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの挨拶、自己紹介 ・お点前の見学 代表生徒が、お点前を披露。 茶道について、茶道具について、など生徒による説明 ・お点前の体験 留学生がお茶を服し、お茶を点てた。 やり方については、生徒が説明。 ・おわりの挨拶、プレゼント贈呈 <p>●事後学習 感想を交流し、振り返りをした。</p>
6 主な成果	対象が留学生であること、自分たちより年長の方であること、初対面であることから、日常の学校生活からは予想できない、様々な課題が予想できた。部活動で培った実践を外部の方へ伝え、理



	<p>解してもらう方法をひとりひとりが具体的に考えることができた。異文化と比較することによって、自国の文化を再認識したり、再発見したりすることができた。留学生から質問され、それに答える経験から、伝統文化部員として今後の活動で求められることも考えられた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>日常の部活動の取り組みを活性化するため、外部機関と積極的に連携を図った。地域の児童館に出向き、小学生への茶道紹介、高齢者への呈茶接待を行った。下京区主催の「ふれ愛ひろば」に参加して、行政機関の交流事業にも触れることができた。地域住民と中学生の交流を通して、社会参画の自覚に意識を高めることができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>お茶室での作法、お点前、お道具を英語で説明しようと試みたが、中学生の語学力では難しい面があった。今回、参加された留学生は日本語能力が高く、問題はなかったが、何をどのように伝えるか、形式的なものではなく、部活動の意義や目的を再認識して情報発信ができるようになることが望まれる。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>次年度は未定です。</p>